

< 運営推進会議における評価 >

【事業所概要】

法人名	株式会社HRN	事業所名	デイサービスかるみあ
所在地	(〒 444 - 0811) 愛知県岡崎市大西町湊田61-3		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

・個別機能訓練による生活リハビリなど ・レクリエーションのプログラム ・外出プログラム ・介護美容
--

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2025 年 4 月 1 日	従業者等自己評価 実施人数	(5) 人 ※管理者を含む
----------------	-------------------	------------------	-----------------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2025 年 6 月 12 日	出席人数(合計)	(7) 人 ※自事業所職員を含む
出席者(内訳)	☐ 自事業所職員(2)人 ☐ 市町村職員()人 ☐ 地域包括支援センター職員(1)人 ☐ 地域住民の代表者(1)人 ☐ 利用者()人 ☐ 利用者の家族()人 ☐ 知見を有する者(3)人 ☐ その他()人		

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目1～10)	初回のため、なし	左に同じ	左に同じ
II. サービス提供	1. 利用者等の 特性・変化に 同上		

等の評価	応じた専門的なサービス提供		利用者のADL、性格等に応じたリハビリの提案・実施 卓上アクティビティの活用による実践とコミュニケーション	
	2. 多機関・多職種との連携	同上	ケアマネージャー、訪問看護等との情報共有	
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画	同上	実施する取り組みは検討中	
Ⅲ. 結果評価		同上	概ね良好	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ. 事業運営の評価			
Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供		
	2. 多機関・多職種との連携		

	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画		
Ⅲ. 結果評価			

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりできて いない	全く できていな い		
Ⅰ 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
1 地域密着型通所介護施設に求められる機能の明確化とその実践							
1	● サービスに求められる「①在宅生活を継続するための心身機能の維持」、「②家族の身体的・精神的介護負担の軽減」、「③地域交流・社会参加」、「④日常生活機能の向上」、「⑤社会的孤立感の解消」を含めた、独自の理念等を掲げている		○			・理念は良い ・地域に求められるサービスである ・取り組み内容についてはその充実に向けた前向きな姿勢がうかがえる。 ・生活リハビリを取り入れ身体機能の維持を心がけている。	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容]					
		・入浴サービスの提供 ・食事の提供 ・個別機能訓練の実施 ・職員や他の利用者との交流					
		特に生活リハビリには力を入れ、自宅での生活機能の向上が見込めるプログラムを重視して提案し、外出プログラムにより外に出掛ける機会を設けることで意欲アップにもつながると考える					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	およ そ で き て い る	あ ま り で き て い な い	全 く で き て い な い		
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	○				・職員の育成を大切にすること ・職員間で理念が共有化されているものと思われる。 ・入職時から理念を共有されている。	✓「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	○				・職員がストレスを抱え込まないようリーダーが把握すると良い ・社内研修を実施している ・月1回ロールプレイなど研修を実施されている。	✓「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		○			・コメントなし	✓「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりできて いない	全く できていな い		
②職種間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 職員同士が相互に情報を共有する機会が、確保されている	○				・比較的小規模の施設でもあり、職員間の連携が図られる。 [具体的な状況・取組内容] ・ITソフトによる書類管理により、いつでも どの職員でも利用者情報の閲覧が可能 ・社内連絡用のツールにより、即時情報の共有が可能（LINEWORKS） ・定期的な利用者に関するミーティングの開催	✓「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている				○	・地域交流の場を設けられると理解が進むのではないかと見学会など ・今後の課題となる（地域密着型として） ・施設を憩いの場としての活用 ・地域行事との連携 [具体的な状況・取組内容]	✓「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている		○			・会社として努力、職場内の環境づくりが大切 [具体的な状況・取組内容] ・定期面談による職員へのヒアリング ・福利厚生の充実に向けた取り組み ・労働の負担軽減につながるICT推進	✓「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のため

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりできて いない	全く できていな い		
		・労働時間への配慮					の支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				・コメントなし	✓「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・即時共有が可能なICTツールの推進					
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている					・コメントなし	✓「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・看護職員の配置 ・事故発生時の報告体制の確立 ・事故発生時の対応先の整備 ・ITソフトウェア導入による情報漏洩の対策 ・事故予防のためのヒヤリハット事項の共有					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時において			○			✓「緊急時におけるサービス提供の

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりできて いない	全く できていな い		
	も、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	[具体的な状況・取組内容] ・BCPの策定 ・防災倉庫の設置（整備中） ・備品の用意（整備中） ・緊急時対応マニュアルの作成と整備、及び周知 整 <td> ・事故・病気・災害などのときの対応手順はできていると思う ・比較的交通量の多いエリアでもあり、交通事故には十分留意されたい。また集中豪雨時の河川状況の把握もお願いしたい。 ・防災は4, 10月訓練を行われる。 </td> <td> ための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます </td>				・事故・病気・災害などのときの対応手順はできていると思う ・比較的交通量の多いエリアでもあり、交通事故には十分留意されたい。また集中豪雨時の河川状況の把握もお願いしたい。 ・防災は4, 10月訓練を行われる。	ための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
1 利用者等の暮らしに着目した、介護士や作業療法士等の多職種からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の暮らしに着目したアセスメントが行われている			○		・コメントなし	✓ 「ご自宅での生活に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ 施設での状況だけでなく、ご自宅を含めた暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		○			・コメントなし	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	およそ でき て い る	あまり でき て い ない	全 く でき て い ない		
							要であるといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	○				・利用者の能力を引き出してほめてあげることはいよいと思う。 ・利用者の能力を引き出す・相手の尊厳を尊ぶ対応をする。	✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
1 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
14	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	○				・移動販売車のようなシステムができるとうい。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
2 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
15	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている			○			✓ 社内外においての利用者の状況変化や、目標の達成状況の共有がされているかを評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりできて いない	全く できていな い		
	いる	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・日報や月報による利用者の状況を ケアマネージャーと共有 ・社内で利用者のADL情報を展開 ・日々、変化があった際の報連相				・コメントなし	
(3) 利用者等との情報及び意識の共有							
1 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
16	○ サービスの趣旨および特徴等 について、分かりやすく説明 し、利用者等の理解を得てい る	○				・コメントなし	✓ 「利用者等の理解」について、充 足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・担当者会議への出席 ・契約時、重要事項説明書について の説明と同意 ・通所介護計画書の説明と同意 ・個別機能訓練計画書の説明と同意					
2 利用者等への「在宅での生活」に係る指導・説明							
17	○ 作成した計画の内容や在宅 での生活の継続に向けて留 意すべき点等について、分か りやすく説明し、利用者等の 理解を得ている	○				・コメントなし	✓ 「利用者等の理解」について、充 足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・計画書の説明と同意 ・通所介護サービスを利用すること のメリットの提示など ・福祉サービス、主にデイサービスの 地域に対する役割の説明					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりできて いない	全く できていな い		
	2. 多機関・多職種との連携						
	(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供						
	1 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行						
18	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している		○			・コメントなし	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
	(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画						
	1 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解						
19	● 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している			○		・コメントなし	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」
	2 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等						
20	● ほかの福祉サービス事業所と相互に課題に対する検討や改善策の模索などをし、利用			○		・コメントなし	✓ 地域の福祉レベル向上のための取り組みを評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	およそ でき て い る	あまり でき て い ない	全 く でき て い ない		
	者の声を市や行政に問題提起をしている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ 担当者会議への出席 ・ 他事業所との交流 ・ 市役所への報連相					✓ 地域住民の要望や福祉サービスが抱える問題を、多職種・他機関・他事業所とともに課題に対する改善策の検討と課題提起が必要であるといえます ✓ 関係者との改善に向けた連携がない場合は「全くできていない」
21	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている			○		・ 交流の場を設ける ・ 比較的新しい施設であり今後の課題となる。	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
22	○ サービスの導入により、利用者ごとの長期・短期目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている		✓ 「長期・短期の目標の達成」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・サービス利用開始前のADL状況から、 多職種と検討して計画書を作成 ・目標達成のための機能訓練の実施 ・目標達成のために利用者の意欲の向上を 支援できるよう声掛けやサービスに工夫	・コメントなし	
② 在宅での生活の継続に対する安心感				
23	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、計画目標の達成または一部達成による改善が自宅生活においてみられているか	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 利用者のほとんどについて、達成できていない	・コメントなし	✓ 全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「利用者本人が望む在宅生活」に対して、「在宅での生活の継続に対する安心感」について評価します